

障害の理解

問題 87 Dさん(30歳, 女性)は, 脳性麻痺のうせいまひ(cerebral palsy)で下肢の運動機能障害があり, 電動車いすを使用している。Dさんは, 自己決定・自己責任による生活をしたと考えて, 一人暮らしを始めた。週に一度ピアカウンセリング(peer counseling)のボランティアをして, 友人と一緒に趣味の映画鑑賞に出かけることを楽しみにしている。

Dさんに関する次の記述のうち, ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health: 国際生活機能分類)の「環境因子」に分類されるものとして, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 下肢の運動機能障害があること
- 2 電動車いすを使用していること
- 3 ボランティアをしていること
- 4 仲の良い友人がいること
- 5 映画鑑賞が趣味であること

問題 88 老人性難聴(presbycusis)の特徴として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 伝音性難聴に分類される。
- 2 高音域から始まる。
- 3 語音明瞭度は高くなる。
- 4 ウイルス感染で生じる。
- 5 症状は急激に進行する。

問題 89 うつ病(depression)で活動性が低下している利用者への介護福祉職の対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 にぎやかな場所に誘う。
- 2 自殺念慮を打ち明けられても、無関心である。
- 3 訴えに対して、受容的に接する。
- 4 話が途切れないように、次から次へと話しかける。
- 5 早く元気になるように、励ます。

問題 90 広汎性発達障害(pervasive developmental disorder)の特性として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 特定のものに対するこだわりが強い。
- 2 相手の意図を正確に読み取る。
- 3 幻覚や妄想が現れる。
- 4 麻痺性構音障害まひせいこうおんしょうがいを生じる。
- 5 協調して作業することが得意である。

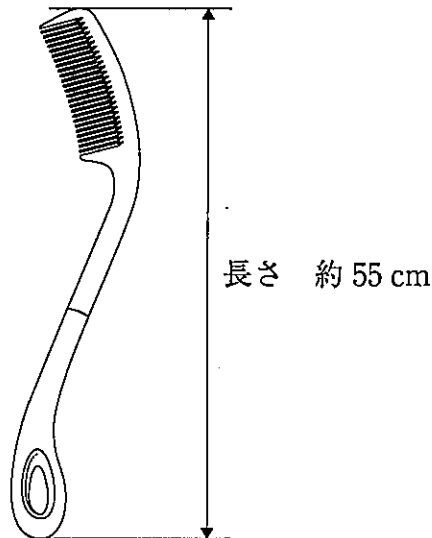
問題 91 筋萎縮性側索硬化症(amyotrophic lateral sclerosis : ALS)にみられる特徴的な障害として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 知的障害
- 2 呼吸障害
- 3 眼球運動障害
- 4 膀胱直腸障害ぼうこうちよくちようしょうがい
- 5 感覚障害

問題 92 障害受容過程の「ショック期」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ
選びなさい。

- 1 現実を実感することが難しい。
- 2 抑うつ反応を示す。
- 3 自らの努力が必要だと気づく。
- 4 他人に感情をぶつける。
- 5 障害を受け止めることができる。

問題 93 下図の自助具を使用する疾患として、最も適切なものを1つ選びなさい。



- 1 パーキンソン病(Parkinson disease)
- 2 腰髄損傷(lumbar spinal cord injury)
- 3 関節リウマチ(rheumatoid arthritis)
- 4 糖尿病(diabetes mellitus)
- 5 クローン病(Crohn disease)

問題 94 ホーエン・ヤール重症度分類でステージ3にあるパーキンソン病(Parkinson disease)の人の日常生活の留意点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 履物はサンダルを使用する。
- 2 誤嚥ごえんに気をつける。
- 3 安静にして過ごす。
- 4 薬を飲み忘れた場合は、次に2回分服用する。
- 5 食物繊維の多い食べ物は避ける。

問題 95 リハビリテーションに関わる医療職の役割として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 作業療法士は、日常生活動作訓練を行う。
- 2 義肢装具士は、立位訓練を行う。
- 3 理学療法士は、短下肢装具の製作を行う。
- 4 臨床検査技師は、失語症(aphasia)の評価を行う。
- 5 言語聴覚士は、心理的な問題について面接を行う。

問題 96 Eさん(31歳, 女性)は, Fちゃん(5歳)と二人暮らしである。自宅で仕事をしながら, 重症心身障害のあるFちゃんを介護している。Fちゃんの食事は刻み食で, 介助が必要である。昼も夜も2～3時間おきに痰^{たん}の吸引を行わなければならない。Eさんの平均睡眠時間は4時間である。Eさんは, 「眠れなくて疲れが取れない」と訴えている。

Eさんへの介護福祉職の助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 痰^{たん}の吸引の技術を高めるために講習を受ける。
- 2 障害基礎年金を申請する。
- 3 介護に専念するために仕事を辞める。
- 4 刻み食をやめて流動食にする。
- 5 レスパイトケア(respite care)を利用する。